

東北・上越新幹線の降雨による運転中止を解消します

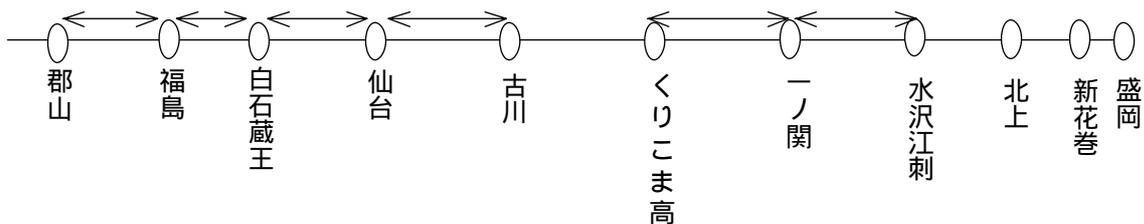
東北・上越新幹線は重要な都市間輸送を担っておりますが、路線の一部の切取区間の斜面等において一定の基準値を超える激しい雨に対しては、列車の運転を中止する場合があります。そこで、東北新幹線の八戸開業を契機に東北・上越新幹線の安定した輸送を確保するため平成14年5月から降雨防災対策工事を進めておりましたが、工事がほぼ完了したため、12月1日より東北・上越新幹線の降雨による運転中止を解消します。

新幹線の降雨による運転中止区間

現在、東北・上越新幹線で降雨による運転中止を行っている区間は以下のとおりで、これら区間の運転中止を解消して徐行運転のみとします。なお、12月1日に延伸開業する盛岡・八戸間については当初より降雨に強い構造としているため運転中止は行いません。

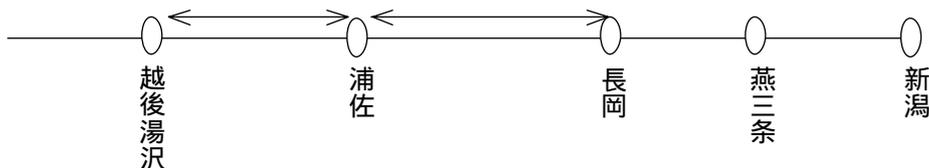
(1) 東北新幹線

～ の区間で運転中止を解消します



(2) 上越新幹線

、 の区間で運転中止を解消します



改正の概要

時雨量(50mm～60mm)、または24時間雨量(180mm～220mm)を超えた場合に運転中止としていましたが、時速70km徐行での運転が可能となります。(規制基準雨量は場所により多少異なります)

これにより、当社におけるフル規格の新幹線(東北・上越・長野)では、原則的に降雨による運転中止は解消されます。